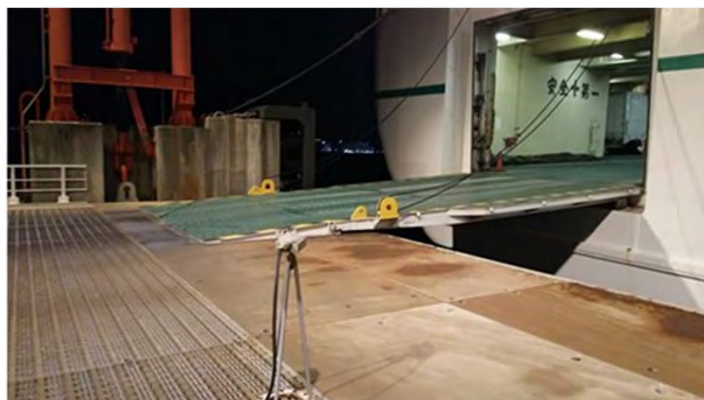


船舶



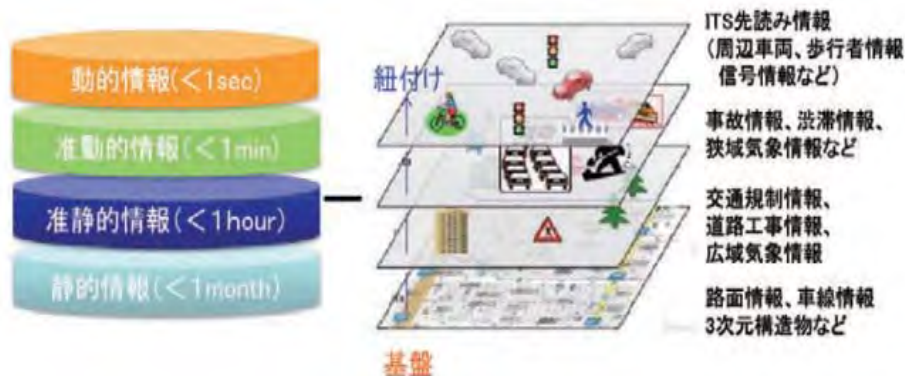
出展 : <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A7%E3%83%AA%E3%83%BC>



- 船の桟橋への自動接岸への適用
- 現在は、船長の目視による操船での接岸。特に夜間や天候不良時の接岸が難しい
- スロープを掛ける場合、岸壁エッジに対して数十cmの精度での接岸が必要

自動走行用ダイナミックマップ

- 静的情報と動的情報を組み込んだ高精度3次元デジタル地図
- ダイナミックマップ上の静的情報(車線, 道路縁等)・動的情報(渋滞, 信号等)を車載機器により処理し、自動走行を実現



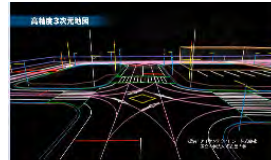
25cm精度3次元地図



モバイル
マッピングシステム



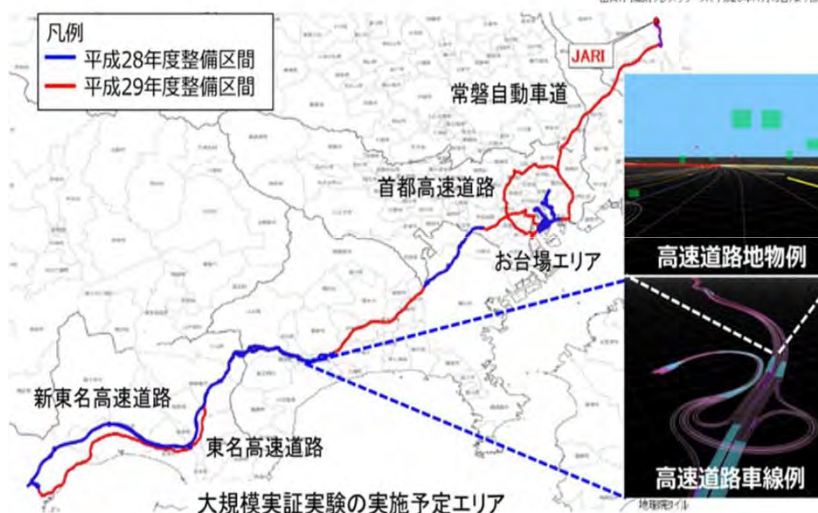
3次元位置
情報基盤



内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) / NEDOのダイナミックマップ大規模実証

一般財団法人 日本自動車研究所(JARI)から清水IC間の往復約700kmのデータ製作

出典:内閣府プレスリリース(平成28年11月15日)より抜粋



(1) 高精度測位端末

- 今春リリースの端末にて各分野における利用実証を加速頂き、更に今秋市場投入を予定している量産端末にて実用化を支援していく。

(2) 高精度3次元地図

- DMP社を技術面でサポートし、まずは自動走行分野での高精度3次元地図の整備・普及に努めると共に、高精度3次元地図と準天頂衛星の組み合わせなどにより、防災やインフラ維持管理等への多用途展開を目指していきたい。

